

水道局の理念・目標・取組

札幌水道ビジョン

水道は市民生活と都市活動に欠かすことのできない重要なライフラインです。

札幌市の水道は給水人口196万人、給水普及率99.9%という全国でも有数の規模となりました。今後も「安全で良質な水をいつまでも安定して供給する」という使命を果たしていくため、札幌市水道局では、平成27年3月に「札幌水道ビジョン(計画期間：平成27年度～令和6年度)」を策定しました。

水道事業の基本理念と目標を定めています



キャラチフレーズ “実感できる札幌水道”



じゃぐちをひねれば、安全で良質な水がいつでも出てくることを感じ、安心・満足していただくことを目指します。

そして、“安全で良質な水を供給し、利用者の視点に立った事業運営を展開していく”ことを利用者の皆さまに実感し、満足していただけるかを確認するため、“じつかん”指標を定めました。

**安全で良質な水道水が届いていることの満足度
令和6年度までの目標: 96%**

**お客様サービス(問合せ対応・広報)の満足度
令和6年度までの目標: 85%**

**水道水のおいしさを実感する“きき水”的体験者数
平成27年度～令和6年度の10年間で延べ15万人**

重点取組項目を定め、さまざまな事業を進めています

1 水源の分散配置と水質の安全性の向上

- 水源の水質・保全
- 水源の分散配置
- 水質監視・管理



水源・バトロールの様子

事故や災害に強い水道システムを構築するため、豊平川のほかにも安定した水源を確保します。
また、安全で良質な水をいつでもお届けできるよう、水源の水質保全や水質監視・管理を継続していきます。

2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化

- 取水・導水・浄水施設の改修
- 送水システムの強化
- 配水管の更新
- 水道施設の効率的な維持・保全
- 耐震化の推進
- 応急給水対策と保安の強化



白川浄水場(全景)

将来の水道システムを見据えた計画的で効率的な施設の更新や維持・保全に取り組みます。
また、事故や災害時にも水道を安定して供給できるよう、施設の耐震化や危機管理体制の強化を進めます。

4 経営基盤の強化と連携の推進

- 財務基盤の強化と経営の効率化
- 技術力の確保・向上と国際貢献
- 広域化の推進や多様な主体との連携

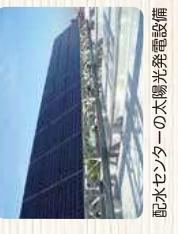


きき水体験の様子

施設の更新や耐震化に必要な財源を確保していくために、財務基盤の強化とともに、経営の効率化を進めています。
また、これまでに作り上げてきた水道システムを将来にわたって持続していくために、次世代の担い手への技術の伝承やパートナーシップの取組を進めています。



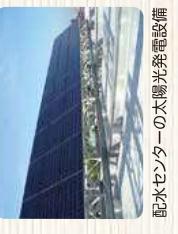
漏水修繕の研修風景



配水センターの大陽光発電設備

5 エネルギーの効率的な活用

- エネルギーの効率的な活用



配水センターの大陽光発電設備

基本理念

利用者の視点に立つ